

とっくりがま



発行：放送大学山口学習センター 2025 年 10 月発行 第 112 号

— 目次 —

■『「プログラミング教室」オンラインではじめました！』

山口学習センター客員教員 野村 厚志 1

■『謝辞』 学生 卒業生代表 春山 圭子 2

■卒業生のメッセージ 3

■事務室からのお知らせ 5

■10 月 ～ 12 月のスケジュール 11



< 機関紙「とっくりがま」の由来 >

明治 14 年、小野田セメント製造会社（現・太平洋セメント株式会社）が創立され、明治 16 年から焼成炉 4 基の窯によって生産が始まりました。高さ 9.6m、煉瓦を積み上げて作った立窯で、徳利に似ていることから「徳利窯」と呼ばれるようになりました。日本近代の洋式セメント製造法を伝える唯一の遺構で、重要文化財に指定されています。

山口学習センターが生涯学習の中核として、ますます発展することを願い、この「徳利窯」にあやかり、機関紙名を『とっくりがま』と命名しました。



〒753-0841 山口市吉田 1677-1
(山口大学吉田キャンパス大学会館 1F)

T E L : 083-928-2501
F A X : 083-928-2503
E - m a i l : yamasc35@ouj.ac.jp

ウェブサイト: <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/>



学習センターの利用時間

◆ 9:30～17:30

2025 年 10～12 月の閉所日

- ◆ 毎週月曜日、祝日
- ◆ 特別閉所日: 10 月 26 日(日)
- ◆ 年末閉所日: 12 月 29 日(月)～31 日(水)

「プログラミング教室」オンラインではじめました！

山口学習センター客員教員 野村 厚志



小学校でプログラミング教育が始まり、例えば6年生の理科では身の回りの家電製品などにコンピュータが数多く使われており、便利な生活を支えていることを実感するような授業が求められるようになった。子ども達にとってみれば当たり前のことではあるが、確かに、身の回りの電気製品、例えば電子レンジやテレビ、エアコン、冷蔵庫、掃除機、自動車のカーナビなど、昭和生まれの私には夢のような機能が備わっている。外から見ただけではわからないが、中には、マイコンといって小さなコンピュータが使

われており、便利な生活を支えてくれている。

そこで3年前から、小中学生やその保護者、学校の先生や一般の方を対象とした「プログラミング教室」を始めた。年間5回程度で、山口市内の各地域交流センターを会場としてお借りしながら、細々と続けていた。内容は、ブロックを組み合わせるようにして、コンピュータに処理してほしいことを指示していくプログラミングの方法や、コンピュータが実際に物（LEDや扇風機）の動作をコントロールするのに必要な簡単な電子回路の構成方法を学ぶものである。山口市内の地域交流センターを巡回する理由は、地域の方々、特に小学生にとって参加のしやすさを考えたためである。

あるとき、市外遠方から小学生と保護者がわざわざプログラミング教室に参加された。教室が終わった後に、その保護者の方と少しお話しし、ハッとすることがあった。私：「遠方より参加いただきありがとうございます。」、保護者：「最近、プログラミング教室やパソコン教室が盛んで、街ではお稽古事としてプログラミングを教えてくれるところがあるようですが、私の住んでいる地域には教室はなく、子どもにプログラミングを習わせようとしたら、親が車で街の方まで連れて行くことになって、とても無理なんです。どこか、住んでいるところで教えてくれるところをご存じありませんか？」というやりとりだった。噂では知っていたが、実際に、昔のそろばんや習字のようにお稽古事として、プログラミングが認識されていることを実感した。

そこで、今年度からわずかであるが、遠隔地からもプログラミング教室にオンラインで参加いただけるようにした。まだまだ試行錯誤中ではあるが7月と8月に1回ずつ実施し、修正点を協力者と検討したところである。今年度はあと3回を予定しており、もしご関心をお持ちの方がおられれば、ご連絡をお願いしたい。プログラミングを学びたい方・教えたい方、いずれも大歓迎である。

謝辞：このプログラミング教室は、放送大学教育振興会の助成によって運営している。

謝辞

卒業生代表 教養学部 心理と教育コース 春山 圭子

本日は、教職員の皆様、ご来賓の皆様のご臨席の下、この様な心温まる卒業式を催していただき、誠にありがとうございます。

卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

若い人達が勉学やスポーツに励む姿を見るにつけ、私も学び直したい。という気持ちは、ずっと持っていました。私には四人の子供がおり、小さい頃には時間も手間も取られ、大きくなると学費を捻出するのが大変で、自分の勉強どころではありませんでした。やっと四番目の子供が大学を卒業し、就職した年の九月、働きながら学べる放送大学に入学する事ができました。丁度五年前、この会議室で温かく迎えていただき、決意を新たにした事を覚えております。面接授業では、色々な年代の方々と席を並べ、中には、二度三度と顔を会わせる方もいらっしやり、心強く感じました。どの科目も、諸先生方から丁寧に分かりやすく教えていただき、大変楽しく学ぶ事ができました。また、翌日からの地道な独学に対して、良い刺激を受け、頑張り続ける事ができました。

父母には、卒業したら、放送大学で学んでいた事を伝えようと思っておりましたが、入学して一年後、入退院を繰り返していた父が亡くなりました。母は、元気の塊のような人で、「死ぬ気がしない」「120まで生きられそう」と口癖の様に申しておりました。卒業した時に、ビックリさせてやろう。と密かに企んでいたのですが、昨年、突然倒れ、数日後に亡くなりました。倒れた日の朝も、いつもの様に体操に行き、間際まで家事をこなしておりましたので、今でも信じられない気持ちですが、今日は、きっとどこかで見て、喜んでくれている事と思います。

マハトマ・ガンジーの言葉に「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」というのがあります。この先、楽しみ惜しみ、学び惜しみをせず、ここ放送大学で学んだ事を生かし、今を頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、杉浦センター所長をはじめ、教職員の皆様、ご支援をいただいた全ての方々に感謝を申し上げますと共に、皆様のご健康とご多幸、放送大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます、お礼の言葉と致します。

本日は、誠にありがとうございました。

(令和七年九月二十八日 学位記授与式)

おめでとうございます

2025 年度第 1 学期は、教養学部 18 名の方が卒業されました。

■ 教養学部

生活と福祉コース… 1 名 心理と教育コース… 9 名 社会と産業コース… 3 名
情報コース… 3 名 自然と環境コース… 2 名



卒業生のメッセージ



9 年間お世話になりました。面接授業を楽しく受講することができ、山口学習センターの皆様に感謝しています。

【自然と環境コース 60 代】

50 代で放送大学の門を叩いたとき、私はただ「学びたい」という気持ちに素直でした。

若い頃に叶えられなかった知への憧れが、歳を重ねるごとに静かに育っていったものです。

62 歳で初めての卒業を迎え、胸に去来したのは達成感というよりも、次なる探究への期待でした。福祉、心理、自然探求それぞれのコースで学んだことは、単なる知識ではなく、人生を見つめ直す視点を私に与えてくれました。そして気づけば、三度の卒業を重ねていました。

70 歳になった今、記憶力の衰えや集中力の波を感じることもあります。それでも新たな扉を開けました。「社会と産業」コースに、これまでとは異なる視点から、人と社会の関係性を見つめ直したいと思ったのです。

放送大学の良さは、年齢や立場に縛られず、誰もが自分のペースで学べること。私はその自由さに救われ、励まされてきました。これからも、焦らず、比べず、自分なりの歩幅で学び続けていきたいと思っています。

これまで支えてくださった先生方、刺激をくれた後輩の皆さん、そして何よりも、いつも私の背中を押してくれた家族に、心から感謝しています。学びは人生の終わりまで続く旅。その旅路を、私は誇りを持って歩いていきたいです。

【自然と環境コース 70 代】

勉強がしんどい時期もありましたが、とても有意義な時間を過ごせました。このたび卒業することができて、とてもうれしく思います。ありがとうございました。

【情報コース 40 代】

無事卒業することができました。ありがとうございました。

【情報コース 70 代】

時間を要しましたが、無事卒業することができ、嬉しく思っています。働きながらの学習だったので、私には合った教育方法で幸いでした。講師や学習センターの方々にはお世話になり感謝しております。勉強する習慣がついたので、これからも継続していきたいと思います。

【社会と産業コース 50 代】



自分の勉強したい科目を自由に選ぶことができ、自分のペースで進められたので、仕事ともきちんと両立できました。まだ勉強してみたい科目もあるので、いつかまた挑戦してみようと思います。ありがとうございました。

【心理と教育コース 20代】

本日こうして卒業を迎えることができたのは、温かく支えてくださった皆様のおかげに他なりません。授業の送り迎えをしてくれた夫、帰宅時間に合わせ食事を用意してくれた家族、そして、忙しい業務の合間を縫って相談に乗ってくださった職場の皆様。皆様の温かいサポートなしには、この卒業は成し得ませんでした。これからは、大学で得た学びを社会に還元し、恩返しができるよう、より一層精進してまいります。

【心理と教育コース 30代】

大学卒業と上位免許取得に向け、編入学をした2年前がついこの間のようです。仕事と学習の両立に不安もありましたが、知識を吸収することの楽しさが再認識できた良い機会でした。大変お世話になりました。

【心理と教育コース 30代】

とても充実した日々でした。また機会があれば学びたいです。

【心理と教育コース 50代】

学べる環境がある事は、幸せな事だと実感しました。ありがとうございました。

【心理と教育コース 60代】

8年前、本学卒業生の公認心理士土井克住先生に出会ったことが放送大学入学のきっかけです。当時、私は傾聴ボランティアをしていました。土井先生の勤務先の病院でボランティア対象者の方に役立つのではないかと、精神衛生に関するポスターを探していたところ、土井先生が「私が話を聞きましょう」と言われ、話を聞いてもらっているうちに放送大学で心理学を学ぶことを勧められました。夫にその話をする「ええ話じゃないか」と背中を押してくれました。

私は卒業が目的でもなく、ましてや資格を取得しようと思うのでもなく、興味のある科目をがむしやりに屈修していきました。「人の心理を知りたい!」という一念の思いからでした。学業からずいぶん離れていたのが戸惑うことも多く、それに放送大学の勉学にあたってのシステムもわからないまま、行き当たりばったりでしたが何とかなりました！これが事実です。勉学に励む私に山口学習センターの職員さん方々に、優しさと、時には厳しく育ててもらったと思っています。何もかもしてもらえないということです。それが、自主的に主体的に自分のために学ぶ！という姿勢につながったと考えます。つまり自ら動くということです。

気が付いたら認定心理士の資格に手が届くところまで科目を履修していました。認定心理士の申請手続きをしているうちに、これが入学から卒業までの8年間の集大成だなと感じています。大学で学んだことを社会で役立てていきたいと決心しました。

最後に山口学習センターの所長さんを始め職員の皆様、心理サークルの代表森本先生、ゼミの先生方、学友の方々、そして私を支えてくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。それに公認心理士の土井先生、夫にもです。ありがとうございました。

【心理と教育コース 70代】

事務室からのお知らせ



◇ 山口学習センターの利用について

- ・事務室窓口業務 9:30～17:30
 - ・図書・視聴学習室 9:30～17:30 放送授業の視聴は16:00までに入室（12:00～13:00は閉室）
- ※利用時間等が変更となった場合は山口学習センターのウェブサイトおよび掲示板でお知らせします。



◇ 地震・風水害等による臨時閉所について

発令地域	発令時刻	警 報 内 容	閉 所	備 考
山口市	7:00	各特別警報または大雨、洪水、暴風、大雪等のいずれか	14:00 まで	開所後に発令の場合は状況に応じて閉所
	13:00	上記警報発令中	終日	

〔詳細は、「2025 年度 利用の手引き」P2 をご参照ください〕



◇ 客員教員の紹介

山口学習センターでは、所長と 6 名の客員教員が学習の方法、学習の進め方の相談や放送授業科目の学習支援に応じます。また、各専門分野でのゼミや公開講座も開催します。詳細については決まり次第、学習センターウェブサイトおよび掲示板でお知らせします。**学習相談をご希望の場合は事前に「学習相談予約票」をご提出ください。**

客 員 教 員	専 門 分 野	学 習 相 談 日 時
		第 2 学 期
杉浦 崇夫 (山口学習センター所長)	運 動 生 理 ・ 生 化 学	毎日 (火曜日を除く) 10:00 ～ 17:00
阿部 新 (山口大学・教授)	環 境 経 済 学	金曜日 9:30 ～ 12:30
清水 満幸 (前 萩博物館・館長)	民 俗 学	水曜日 9:30 ～ 12:30
長谷 和久 (山口大学・講師)	社 会 心 理 学	土曜日 9:30 ～ 12:30 (月 2 回)
西尾 幸一郎 (山口大学・准教授)	住 居 学	木曜日 13:00 ～ 16:00
野村 厚志 (山口大学・教授)	情 報 処 理 学	木曜日 9:30 ～ 12:30
横山 和平 (山口大学・名誉教授)	土 壤 微 生 物 学	水曜日 13:30 ～ 16:30

☆ システムWAKABAについて

重要



システム WAKABA（放送大学教務情報システム）は、大学からのお知らせを始め、放送授業のインターネット配信、通信指導提出等学習に関する情報を取得できます。



【重要！】パスワードの変更について

◆ 入学生の方…システム WAKABA を利用するには初期パスワードの変更が必要です。

入学許可書が届いたらまずは初期パスワードを変更してください。

＊ ご変更はこちらから → <https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet>

◆ 在学生の方…初期パスワードを変更していない場合、システム WAKABA を利用できません。また、パスワードを忘れてしまった場合は、以下のいずれかの方法でご連絡ください。

＊ 山口学習センターへ来所（対面のみ対応）

＊ 学生サポートセンターへ電話（TEL：043-276-5111）

＊ 教務課教務係へメール（e-mail：kyomuka@ouj.ac.jp）

本人確認の上、初期パスワードに再設定しますので、速やかに初期パスワードを変更してください。

翌日6時までに変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

◎各種変更手続きについて

所属コース、所属センター、住所、氏名等の変更手続き、および休学、復学、退学等の届け出については、システム WAKABA で行うことができます。また、「学生生活の葉」の巻末にある様式またはシステム WAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードして郵送でも提出できます。

☆ キャンパスメールを確認してください



キャンパスメールは、Web ブラウザを利用した電子メールシステムです。

下記メールアドレスが学生全員に割り振られます。山口学習センターから連絡手段としてメールを送信いたします。定期的にキャンパスメールを確認してください。

キャンパスメールアドレス： 学生番号（ハイフン除く半角 10 桁）@campus.ouj.ac.jp

※キャンパスメールに届いたメールを、普段ご利用の携帯メールアドレスなどへ自動転送するには、システム WAKABA「キャンパスライフ→附属施設・情報システム」の「キャンパスメールの自動転送設定方法」をご参照ください。

〔詳細は「学生生活の葉」学部 P115、大学院 P115 をご参照ください〕

☆ 学生証について

重要



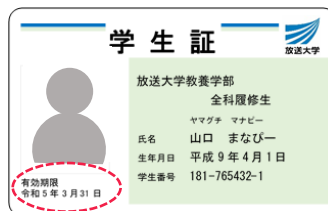
- ◆ 入学生の方…「入学許可書」を事務窓口までお持ちください。本人確認の上、学生証をお渡しします。
継続入学の方は旧学生証もお持ちください。新しい学生証と交換します。

※注意 顔写真が未登録の方は発行できませんので、システム WAKABA で直接登録、または写真票を
大学本部学生課入学・履修係に郵送して（発行までに約 2～3 週間）、手続きを行ってください。

- ◆ 在学生の方…「有効期限の切れた学生証」を事務窓口で新しい学生証と交換します。

交換は **10 月 2 日（木）以降** になります。

有効期限をご確認ください！
令和 7 年 9 月 30 日またはそれ以前に
なっている場合は更新が必要です。



※注意 氏名等の変更をした場合は学生証の再発行手続きが必要です。（手数料：500 円）

〔詳細は「学生生活の葉」学部 P23～P25、大学院 P34～P37 をご参照ください〕



☆ 無線 LAN (Wi-Fi) の利用について

山口学習センターでは、**事前申請**することにより、放送大学が提供する無線 LAN (Wi-Fi) をご利用いただけます。申請方法は 2024 年 10 月から**オンライン申請**となりました。

1. サイバーセキュリティ研修の受講

システム WAKABA→ 放送大学自己学習サイト→情報セキュリティ研修（学生用）を
受講してください。小テストに合格すると「修了証」が発行されます。

2. 利用申請（オンライン）

システム WAKABA→ キャンパスライフ→各種届出・申請様式→
無線 LAN 利用申請（オンライン）についての参考 URL から申請してください。
申請後、ID、パスワードが表示されます。



3. 学習センターで無線 LAN (Wi-Fi) 接続

ご自身の端末にて ID とパスワードを入力して無線 LAN (Wi-Fi) に接続してください。

〔詳細は「学生生活の葉」学部 P116～P117、大学院 P116～P117 をご参照ください〕

☆ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）について



学生教育研究災害傷害保険（学研災）は、加入者が在籍する大学の教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とした保険で、全ての種類の学生が加入することができます。

保険金の支払い対象は、面接授業中や学校行事に参加している間、大学が認めた学生団体活動中、その他大学の施設内にいる間に被った事故等です。**加入は任意ですが、面接授業の中には加入者を対象とする科目もあります。面接授業時間割表の【その他（特記事項）】でご確認ください。**

各学習センターで加入することができますが、**保険の効力は加入した日の翌日からとなります**ので、ご注意ください。

〔詳細は「学生生活の葉」学部 P129～P130、大学院 P129～P130 をご参照ください〕



☆ 面接授業の時間割変更について

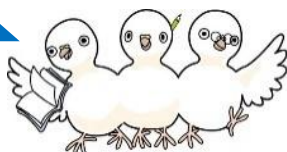
重要



2025 年度第 2 学期から開始・終了時刻が変わります。開始時刻は 20 分繰り上げ **9 時 30 分開始**、最終時限はこれまでより 30 分早く **16 時 40 分終了**です。
ご注意ください。

1 日目		2 日目	
第 1 時限	9:30~11:00	第 1 時限	9:30~11:00
第 2 時限	11:10~12:40	第 2 時限	11:10~12:40
休憩 50分		休憩 50分	
第 3 時限	13:30~15:00	第 3 時限	13:30~15:00
第 4 時限	15:10~16:40	第 4 時限	15:10~15:55
		試験・レポート等	15:55~16:40

第 1 時限は
9 時 30 分から
開始です！



☆ Web 通信指導について

重要

通信指導は、郵送提出科目を除き Web 通信指導による提出のため、問題冊子の送付はありません。

通信指導の解答は、必ず放送大学本部へ提出期間内に提出してください。期限後の提出や未提出は評価対象になりません。答案を提出し、合格しないと単位認定試験を受験することができません。

◆ Web 通信指導による提出が困難な場合

自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web 通信指導による提出が困難な場合は、変更願受付期日までに単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、問題冊子を送付します。問題冊子の送付時期は 10 月下旬です。

◆ 提出期間

Web 通信指導による提出 (一部科目を除く)	11 月 6 日 (木) 10:00 ~ 11 月 26 日 (水) 17:00 利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕をもって提出 (送信) してください。
郵送による提出※	11 月 12 日 (水) ~ 11 月 26 日 (水) 本部必着 ※郵送提出科目、Web 通信指導による提出が困難な場合に限ります。

[詳細は、「学生生活の栞」学部 P68~P71、大学院 P72~P77 をご参照ください]

◇ 2025 年度第 2 学期 学生限定講座のご案内



放送大学山口学習センター客員教員による、2025 年度第 2 学期に山口学習センター所属の学生を対象とした無料の学生限定講座を開講します。

みなさまのご参加をお待ちしています。

＊ 詳細は山口学習センターウェブページ・チラシをご確認ください。



詳細はこちら→

講座名/定員/受講方法	講師	開催日時		
『世界システム論講義： ヨーロッパと近代世界』を読む 定員:20 名 対面・オンライン参加も可	阿部 新	10 月 24 日 11 月 21 日 12 月 19 日 1 月 30 日 2 月 27 日	(金)	10:00～11:30
何？ なぜ？ から始める民俗学 定員:20 名 対面のみ	清水 満幸	10 月 22 日 11 月 26 日 12 月 24 日 1 月 28 日 2 月 18 日	(水)	10:30～12:00
社会と人とをつなぐ社会心理学 定員:20 名 対面のみ	長谷 和久	11 月 1 日 12 月 13 日 1 月 10 日 2 月 14 日 3 月 7 日	(土)	10:30～12:00
住まいや暮らしのデザイン 定員: 20 名 対面のみ	西尾 幸一郎	10 月 23 日 11 月 20 日 12 月 18 日 1 月 29 日 2 月 19 日	(木)	13:30～15:00
生活の中で活用される マイコンのプログラミングと電子回路 定員:20 名 対面・オンライン参加も可	野村 厚志	11 月 6 日 12 月 4 日 1 月 8 日 2 月 5 日 3 月 5 日	(木)	10:00～11:30
土と微生物 定員:20 名 対面のみ	横山 和平	10 月 29 日 11 月 12 日 12 月 3 日 1 月 7 日 2 月 4 日	(水)	15:00～16:30
転倒予防のためのトレーニング講座 定員:10 名 対面のみ (※こちらの講義は一般の方も受講可)	杉浦 崇夫	10 月 12 日 10 月 19 日 11 月 2 日 11 月 9 日 11 月 16 日 11 月 30 日 12 月 7 日	(日)	10:00～12:00 ただし 11 月 30 日は 14:00～16:00

お申し込みは Google フォーム・メール・FAX・窓口にて受け付けます。



申込専用フォーム→

◇ 美術館キャンパスメンバーズ



山口学習センターは、県立美術館（山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館）が実施する「美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入しています。

山口学習センターの学生、教職員は当該美術館の普通展示および企画展示（山口県美術展覧会、山口伝統工芸展を除く）を無料で何度でも鑑賞できます。利用する際は、美術館入口で学生証を提示してください。

※学生証を受け取っていない方や有効期限が切れている学生証をお持ちの方は山口学習センターで交付または交換してください。

◇ 機関誌「とっくりがま」について



山口学習センター機関誌「とっくりがま」を、年4回（4月、7月、10月、1月）発行しています。4月と10月は紙媒体での発行（郵送）をしますが、7月と1月はWeb発行のみとなります。

◇ 連携公開講座・公開講演会のご案内



県内各地の自治体や図書館等と連携して公開講座を開催します。

興味のあるテーマがございましたら、どなたでも受講できますので、ご家族やご友人等をお誘いの上、お気軽にご参加ください。

＊ 詳細は決まり次第、山口学習センターウェブサイトに掲載します。

詳細はこちら→



タイトル	講師	会場	開催日
モチベーションの心理学： やる気を高めるための科学的な解答	長谷 和久	周南市学び・ 交流プラザ	10月11日(土) 11:00～12:30
転倒予防のためのトレーニング講座	杉浦 崇夫	嘉川地域交流 センター	11月7日(金)、14日(金)、21 日(金)、28日(金)、 12月5日(金)、12日(金) 10:00～11:30
転倒予防のためのトレーニング講座	杉浦 崇夫	宮野地域交流 センター	11月4日(火)、11日(火)、 18日(火)、25日(火)、 12月2日(火)、9日(火) 10:00～11:30
医療者がアタマの中で進めていること ～臨床推論・アセスメント～	山内 豊明	放送大学 公開講演会	2月 7日(土) 13:30～15:00

10月～12月のスケジュール

(2025年10月1日現在)

天候や災害等に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。

10月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



- 1日 放送授業開始
- 3日 オンライン授業開始
- 5日 学生研修旅行
- 17日 面接授業空席発表 (15:00～)
面接授業科目追加登録事前申請受付開始
(～10月22日13:10)
- 23日 面接授業科目追加登録先着申請受付開始
(15:00～)
- 26日 閉所日 (特別)



【面接授業】

- 18・19日 地震災害と災害情報

11月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



- 3日 閉所日 (文化の日)
- 6日 通信指導受付開始【Web】10:00～
- 23日 閉所日 (勤労感謝の日)
- 26日 通信指導提出期限【Web】～17:00

【面接授業】

- 1・2日 相続法入門
- 8・9日 心理検査法基礎実習
- 8・9日 アンチエイジングと食の科学
- 15・16日 日常に欠かせない税金の知識
- 29・30日 POV-Ray プログラミング

【ライブ Web 授業】

- 15・16日 情報工学応用演習・数値実験

12月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 29日 閉所日 (年末)
- 30日 閉所日 (年末)
- 31日 閉所日 (年末)

【面接授業】

- 6・7日 民族学から考える祭りと祭礼
- 13・14日 文明開化と明治維新
- 20・21日 山口県の弥生時代



閉所日 ○ 面接授業・ライブWeb授業

編集
後記

新入生のみなさま、ご入学おめでとうございます。ようやく朝夕に秋の気配を感じる今日この頃、第2学期が始まりました。充実した学修の時間を過ごしていただけるよう、教職員一同サポートしてまいります。最後に、ご多用の折ご寄稿をくださった方々に、心より御礼申し上げます。